

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	特定非営利活動法人 ふくしま再生の会
活動タイトル	里山の自然とその恵みを生活の身近に取り戻そう！
活動地域	福島県相馬郡飯舘村



シイタケ栽培, 6/25 土壌放射能濃度の調査

### 【活動の目的・目標】

放射能に汚染された飯舘村の里山で、伐採と植樹を行い、併せてこれまでの放射能評価や除染の経験に基づいた対策を実行し、里山の自然を再生し、その景観・食べ物・環境などの恵みを生活の身近に取り戻す。



シイタケ栽培, 7/17 客土の後にシートを設置

### 【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

シイタケ栽培地の土壌放射能濃度は、深さ6cm迄の平均で4kBq/kgと高く、剥取り除染では大量の汚染土が出るのが判明。剥取り除染を止め、汚染の無い土を客土することに変更した。

客土後の土壌放射能濃度は、深さ6cm迄の平均で0.3kBq/kgと大幅に低下した。更に客土の上から放射能の浸透を防ぐシートを張り、防除対策を講じて楢木を組み置き、栽培を開始した。



シイタケ栽培, 7/25 植菌した楢木を組み置き

### 【活動の内容・成果】

開催回数：10回

参加人数：35人

達成率：50%

#### シイタケ栽培

6/18 キノコ生産者を視察（相馬市玉野）（5人）

栽培予定地での準備；

6/25 土壌の放射能測定（3人）

7/7 空間・地表面線量測定（1人）

7/17 汚染の無い土を盛土、シート敷設（6人）

楢木組み置き

7/25 植菌した楢木80本を組み置き（7人）

前年度植樹樹木の育成

7/24~27 ツツジ・クヌギ等の下草刈り（6人）

8/6 クヌギの支柱棒交換設置・誘引（3人）

8/27 農薬散布（1人）

9/24~25 クヌギ枝葉の放射能測定（3人）

成果：

放射能評価や除染、キノコ実験栽培の経験を活かし、シイタケ楢木栽培を開始した。昨年植樹樹木の育成作業を実施した。

### 【団体概要】

2011/6 飯舘村の再生に取り組む任意団体として活動を開始。現在里山再生の他に、次の活動に取り組んでいる：

- お年寄りの村民を対象に健康医療ケア活動
- アーティスト・若い移住者と協働した村おこし
- 新規就農者に対しIoTを活用した支援
- 新しい農業のワイン用ブドウ栽培
- 学生と里山での活動と一緒に体験する研修会
- 飯舘村内で宿泊交流施設の運営

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

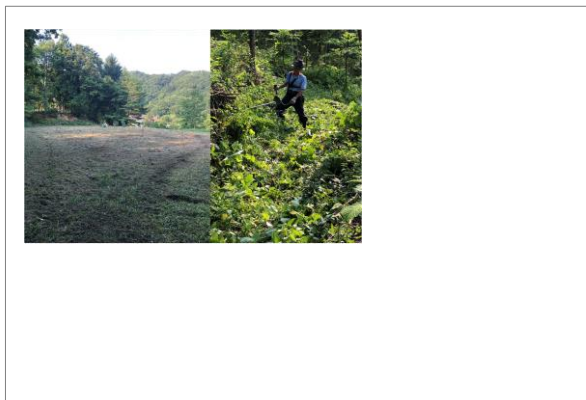
こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



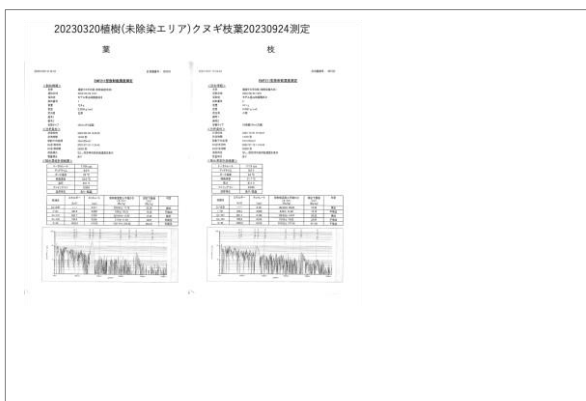
深度別土壌放射能濃度；  
左側の棒グラフは、シイタケを栽培する雑木林の、もともとの土壌放射能濃度。（2cm 刻みの深度別濃度 Bq/kg）  
右側のグラフは、汚染の無い土を客土した後の土壌放射能濃度。（2cm 刻み深度別濃度 Bq/kg）



2023年8月28~31; 植樹した苗木の根元に設置する竹棒を製作。里山の竹林から竹を切り出し、枝を払った後に適当な長さに切断、赤いペンキを塗って完成。（左の写真 8/31 撮影）  
2022年5月に植樹したツツジは、1年後の2023年4月には花が咲きました。（右の写真、4/18 撮影）



2023年3月にクリ・カリンを植樹した畑の草刈り。（左の写真 7/26 日撮影）  
2022年5月に松林を間伐してツツジを植樹した斜面の下草刈り。（右の写真 7/26 日撮影）



2023年3月20日に、里山の雑木林 II の未除染エリアに植樹したクヌギの枝葉を採取して、2023年9月24日に放射能濃度を測定しました。結果は葉で 223Bq/kg +/-18、枝で 142Bq/kg +/-21 でした。楢木の基準 50Bq/kg を超えています。  
10月以降に、除染エリアに植樹したクヌギの枝葉も測定する予定です。